



第2530地区 福島西ロータリークラブ会報

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

令和4年5月23日(月) 第31回 通算第1625回例会

会長 高橋 智 弘  
幹事 相澤 隆

奉仕プロジェクト委員会委員長 高梨 哲 男

会報写真担当 宮崎 秀 剛

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第31回例会 点鐘12:30

◇開会点鐘 高橋 智 弘会長

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」  
ソングリーダー 西形 健 吉会員



◇お客様並びにビジター紹介

◇会長あいさつ 高橋 智 弘会長



皆さん、こんにちは。昨日まで開催されていた大相撲ですが、若隆景、若元春ともに9勝6敗の成績でした。来場所是非とも頑張ってもらいたいと思います。先週5月21日(土)に規則・手続委員会セミナーが郡山で開催されました。特に皆さんに関係のある定款で採択された部分としましては、クラブ運営の第7条会合第3節理事会の会合の所で理事会のすべての会合後30日以内に、書面による議事録を全会員が入手できるようにする。会員の第13条会員身分の存続は、会員が事業場または住居を所属クラブの所在地域内もしくはその周辺地域に有する要件を撤廃する。奉仕部門と行動規範の第6条五大奉仕部門は、奉仕の第三部門に、地域社会における積極的平和を目指すことを追加する。クラブ例会と出席の第10条出席規定の免除は、出席免除規定における理事会の承認を削除し、ロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、少なくとも20年のロータリアン歴がある人は、希望があればすべて認めることとする。また、国際ロータリー(管理運営)の人頭分担金は2023-24年度には半年ごとに米貨37ドル50セント、2024-25年度には半年ごとに米貨39ドル25セント、2025-26年度には半年ごとに米貨41ドルに値上げする。これらの改定を会員の皆様には周知していただきたい。

さて本日は5月15日に行われました地区研修・協議会の各委員会に出席された会員の方に、報告のスピーチをしていただきたいと思います。来年度に向けて会員の皆様には、新たな気持ちで臨んでいただければと思います。ご清聴ありがとうございました。

◇幹事報告 相澤 隆幹事



○例会変更のお知らせ

・次週5月30日の例会は、今年度3回目の理事会承認休会となります。

委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 高梨 哲 男委員長

○高橋智弘会長=地区研修・協議会のご報告よろしくお祈りします。

○梅津一匡会員=昨日の地震の直後、エルティさんの近くで車の総走行距離が77,777kmとなりました。7があまりにも並ぶので、昔遊んだパチンコ台をふと思い出しました。

○宮崎秀剛会員=昨日の地震にはおどろきました。本日もよろしくお祈りします。

——地区研修・協議会報告のスピーチによせて——

○相澤 隆幹事 ○大平謹一郎会員 ○久米允彦会員

○黒澤信之会員 ○佐藤宗弘会員 ○佐藤卓立会員

○齋藤武二会員 ○野尻榮一会員 ○渡辺敬敏会員

○高梨哲男会員

本日のスマイリングBOX集計13件 26,000円  
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇福島西ロータリークラブ野球部より 黒澤 信之 主将



◇本日のプログラム——地区研修・協議会報告

分科会	対象者(2022-23年度)	出席者名(2022-23年度) (上段氏名・下段クラブ内役職)
1 会長(地区・ クラブ規定委員会)	会 長(義務出席)	高梨哲男
	※ロータリークラブ定款 第13条第5節(c)	会長
2 幹事会(地区研修委員会・ RLI委員会)	幹 事	高橋智弘
	クラブ研修委員 等	幹事
3 会員増強拡大・ DEI委員会	クラブ奉仕委員会	寺島英樹
	会員増強拡大委員会	クラブ管理運営委員長
	ロータリー情報委員会 等	
4 公共イメージ・ IT委員会	公共イメージ・IT委員会	久米允彦
	広報、会報、雑誌委員会 等	公共イメージ委員長
5 職業奉仕委員会	職業奉仕委員会	宮崎秀剛
		副幹事
6 社会・ 国際奉仕委員会	社会奉仕委員会	佐藤慶行(欠席)
	国際奉仕委員会	国際奉仕委員長
7 青少年奉仕委員会	青少年奉仕委員会、 IAC委員会	渡辺敬藏
	青少年交換委員会 等	会長エレクト
8 ローターアクト委員会	ローターアクト委員会 等	梅津一匡
		広報委員
9 ローター財団委員会	ロータリー財団委員会 等	相澤隆
		R財団委員長
10 米山記念奨学会委員会	米山記念奨学会委員会 等	大平謹一郎
		米山記念奨学会委員長



ました。そのような事態でしたので、研修内容については詳細を理解するに至りませんでしたので、配付された資料から入手できた内容のみのご報告となりますこととお許し願います。

地区委員長のコメントでは、「公共イメージ委員会活動」と「IT委員会活動」とに分けての方針が打ち出されています。時代の趨勢は種々の発信ツールや情報伝達方が蔓延しており、ロータリークラブに関心をお持ちでない方々も、ITをツールとして情報を得られる時代ですから、これらに伝えていかなければなりません。否が応でもITツールを用いて、社会はアクセスしてきますので、「沈黙」していることは、却ってマイナスイメージとなり、ロータリークラブ全体の悪評化になりうることでありますから、自ら意識して公共イメージの共感活動をするというメッセージのようです。

○地区・クラブ規定委員会 高 梨 哲 男 会長



○テーマは、イマジンロータリー

多様性、公平さ、インクルーシブを包括的に最優先し、DEIリーダーがこれを実践し、そのメンバー構成に反映させていく必要があると力説しています。

課題として、会員の減少、高齢化、負担大、例会・事業の硬直化、出席率低下等。

これらの解決手段は、高潔性というロータリーの価値観に従い、DEIにいたる組織として自分たちが、どの位置で正直で透明性をもって見据えると同時に学び、向上し続けることに全力を尽くすか。

○パーソナルではなく、グローバルな視点に立って、奉仕の原点を再認識する必要がある。

○公共イメージ・IT委員会 久 米 允 彦 委員長

去る15日、リモート会議による研修・協議会の「公共イメージ・IT委員会」に参加すべく、PCをセットして参加しようと思っておりましたが、どういふ訳かPCの立ち上げが上手くいかず、結局不参加となってしまう、参加の皆様にはご迷惑をお掛けし

○職業奉仕委員会

宮 崎 秀 剛 副幹事



当日は欠席となり分科会に参加できませんでしたので、地区研修・協議会プログラムを元にご説明いたします。

職業奉仕の実践を評した言葉があります。

「職業奉仕を一生懸命やれば企業は繁盛し、企業は潰れない」ということです。

コロナ禍において、私たちの生活においても生活様式を変えるほど大きな変化のうねりが襲っています。

職業奉仕委員会についてもこの世の中の大きな変化に対応しなければいけません。

大きな変化に対応する方針が二つあります。

一つは「ふくしま職業奉仕宣言」の活用、もう一つはRIでも採用された「DEI(多様性、公平さ、帰属意識)」を取り入れたウィズコロナに対応した、新しい時代の職業奉仕の在り方について、です。

◆目的◆

職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロー

タリアン各自の職業を高潔なものとする。

→【ロータリーの目的 第2掲載】

そして、職業は自己の生計を立てる手段であるが、社会の役に立つ手段でもある。各々の職業が広く社会に関わることから、職業倫理を高めること、職業奉仕を実践することがロータリーの原点であり、またロータリアンにとって重要な責務である。

◆活動方針◆

1. 月初めの例会時に、「四つのテスト」の唱和を行う
2. 年度内に数回の職場訪問移動例会の計画を立て実施する
3. 会員事業所における永年勤続優良従業員表彰式を実施する
4. 職業奉仕月間には、それに関する卓話を計画し実施する

連携しながらチーム意識を持って委員会活動をして行きたいと思えます。

○青少年奉仕委員会 渡辺敬藏 会長



5月15日、WEBで開催された青少年奉仕委員会セミナーについてご報告いたします。

司会の岡田委員長の挨拶の後、各セッションごとに説明があった。

セッションⅠ：

青少年奉仕委員会にはインターアクト委員会、RYLA委員会、青少年委員会があり、それぞれ活動をしている。活動内容は以下の通り。

インターアクト委員会(久井貴弘氏)

- ・インターアクトの合同プログラムの援助
- ・IAC(インターアクト協議会)の援助
- ・新IACの結成の推進及び援助など

RYLA委員会(佐藤美奈子氏)

- ・RYLA参加対象はこれまでは14歳から31歳までであったが、これを18歳から35歳までにひろげる
- ・今年は母畑温泉の八幡屋での開催を予定 各クラブ1～2名の参加を希望 参加費は各クラブ負担 1～2万円を予定
- ・第40回RYLA報告書を各クラブに来月配布予定

セッションⅡ：

青少年交換(原田康博氏)

- ・課題として、①学生の減少②ロータリークラブの意識低下がある
- ①について：最近の学生は内向きであること、また学期のずれがある

②について：2020年は3名、2021年は6名となるもコロナ禍で2名となった

・活動計画

方針：交換プログラムの支援

活動計画：長期として、8分区から各1名の派遣と受け入れ

短期として、3350地区との実施を検討

その他

- ・インターアクトクラブへの地区からの補助金はない
- ・RYLAの各クラブ負担は1～2万円/人

○ローターアクト委員会 梅津一匡 委員



諸般の事情により、地区研修・協議会に参加できませんでしたが、プログラム資料を基に報告致します。

2020年より、ローターアクトが国際ロータリーの構成員となり、今年7月からはRIへ会費の支払いが始まりました。また、これまでにあった会員の年齢制限がなくなる等、ローターアクトクラブの立ち位置が大きく変化いたしました。

これをふまえて、次年度は「スタートアップ&ステップアップ」の年とするため、これまでのスポンサークラブへの協力・協働、地区内外のローターアクトクラブとの協働、地区内外のローターアクトとの活動・交流等に加えて、ローターアクトの若いパワーとネットワークを活かすべく、スポンサークラブのみならず全クラブにローターアクトとのコラボプロジェクトや協力を呼び掛けていくこととし、そのために、

①ローターアクトへ「ロータリー」を学ぶ機会を創出すること

②ロータリアンが「ローターアクト」を学ぶ機会を創出すること

③相互理解のための交流やロータリークラブへのメーキャップや卓話を推進すること  
 など、最優先するのは、ローターアクトとの対話とコミュニケーションが重要であるとの方針が示されました。

ローターアクト委員会の活動に限ったことではありませんが、コミュニケーションや対話は、通常のクラブ活動で最も重要です。対話などの活動を通じ、クラブの強化へとつなげていければと考えております。

○ロータリー財団委員会 相澤 隆委員



佐藤卓立次期委員長の代理で参加した「ロータリー財団委員会」の研修・協議内容を報告させていただきます。書面などの事前資料がなく、Zoom画面での説明だけということで、詳しい内容はおぼろげですが、全般的には地区補助金に関する説明がほとんどでありました。

次年度は、ロータリー財団委員長にいわき平中央ロータリークラブの田久昌次郎氏が就き、補助金委員会はいわき小名浜ロータリークラブの太田丈人委員長、資金推進・ポリオ委員会はいわき勿来ロータリークラブの高萩勝利委員長、財団資金管理委員会はいわき平中央ロータリークラブの鈴木清友委員長という布陣となります。また、平井義郎パストガバナーが地区の財団担当相談役を務められます。

今回の主な研修内容としては、田久委員長から「地区委員会の役割と目標」について説明がありました。次年度は「創造と共有」を委員会のスローガンとして、地区内クラブの御用聞き・クラブが主役の委員会活動に徹することで、各クラブの活動を支援していくという方針を示されました。

財団に係わる地区の次年度数値目標は、①年次基金1人150ドル②ポリオプラス1人30ドル③ベネファクター各クラブ1名④寄付ゼロクラブ「ゼロ」の達成の4点を掲げており、これら目標に対する理解と、クラブ内での実践行動を要請しました。

具体的な取り組みとしましては、ロータリー財団セミナー(7月31日予定)と補助金管理セミナー(12月3日予定)の開催、委員会委員のクラブ訪問・卓話の実施、地区Webサイト内に「財団Q&A」ページとクラウドサーバーの設置、ポリオプラス基金への寄贈、ローターアクトクラブとの連携などが計画されています。

このほか、地区財団委員会からのお願いとして①マイロータリーの登録②ロータリーカードの申請③クラブカードの申請促進などの協力依頼がありましたので報告させていただきます。

○米山記念奨学会委員会 大平 謹一郎委員長



○米山記念奨学会委員会

公益社団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリー共同で運営する民間奨学団体で国内では民間最大規模の国際奨学事業です。日本で学ぶ私費外国人留学生を支援するRIから認められた日本全34地区合同による日本独自の事業です。

○推進委員会活動計画

米山記念奨学事業を理解していただき、特に寄付に対する理解を促進し、ひとりでも多くの外国人留学生に奨学金を支給できるようにすることです。そうすることによって、ロータリーの理想とする国際親善に寄与していただき、日本と世界の架け橋を担う人材を育成することです。

寄付にはクラブから定期的にいただく「普通寄付」と個人・クラブから任意でいただく「特別寄付」があります。次年度の地区の寄付収入により2年後の地区奨学生割当数が決まります。米山記念奨学事業は皆様の寄付により支えられています。

寄付目標 次年度ガバナー方針

普通寄付5,000円・特別寄付10,000円達成へ  
寄付ゼロクラブ「ゼロ」

○学友委員会活動計画

カウンセラーと協力して米山記念奨学生のお世話と育成を図ります。

次年度も新型コロナ感染の状況を見ながら、カウンセラー研修会、奨学生体験発表会、米山梅吉記念館旅行、修了式、新米山記念奨学生歓迎オリエンテーション等の開催の有無・時期を検討します。

○選考委員会活動計画

選考委員会の役割は、学業・異文化交流・コミュニケーション能力を念頭において優秀な夢を持った人柄の良い奨学生を採用することです。

8月に募集がスタートし、11月に面接官オリエンテーションと書類選考、12月選考試験、2月世話クラブ・カウンセラー選定、4月歓迎オリエンテーション

◇閉会点鐘 高橋 智 弘会長  
※会報カメラ担当 宮崎 秀 剛会員

●他RC例会場・例会日

クラブ名	曜日	例会場名	クラブ名	曜日	例会場名
福島RC	木曜日	クーラクーリアンテサンパレス	飯坂RC	木曜日	吉川屋
福島南RC	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福島北RC	火曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島中央RC	水曜日	ザ・セレクトン福島	福島東RC	金曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島21RC	木曜日 18:30~	クーラクーリアンテサンパレス	福島しんたつRC	月曜日 18:30~	福島県青少年会館